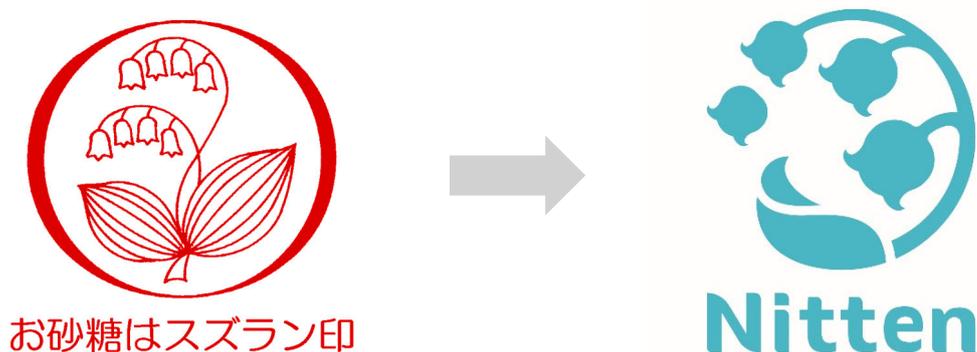


## ニッテン 「スズラン印」のロゴマークをリニューアル

日本甜菜製糖株式会社(本社 東京都港区三田、取締役社長 石栗秀、以下「ニッテン」)は、新たなブランドイメージの構築を目指し、食品ブランドである「スズラン印」のブランドロゴマークを2025年10月20日をもって変更し、製品パッケージデザインも順次リニューアルすると発表しました。

ニッテンの食品ブランドの意匠は1962年より現行の「スズラン印」が使用されています。この度、デバイス適応性や視認性の向上、色覚多様性への配慮を図るとともに、ニッテンの積極的な市場展開を具現化する目的で、製品ブランドの新ロゴマークを「スズラン印の日」\* (10月20日)より使用します。なお、広告宣伝活動には、タグライン「おいしくなあれの原材料。」を加えたバージョンを使用します。



ニッテン食品ブランドのDNAであるスズランを見つめなおし、より躍動的な造形に変更しました。キーカラーのニッテンブルーは、清廉で純粋なスズランをイメージしたカラーで、青く澄んだ空や雪解けの水など、北海道の雄大な自然を想起させます。Nittenの文字はドイツの英字書体「DIN」を基礎として、丸くやさしいフォルムにデザインしたニッテンオリジナル書体です。(詳細は添付をご参照ください)  
ニッテンは、新たなロゴマークと共に、さらなる製品ブランドの価値向上を目指します。

\* 「スズラン印の日」 —

てん菜糖製品のデザインをスズラン印に統一した日(1962年10月20日)にちなみ、10月20日をスズラン印の日と制定し、日本記念日協会から認定された。

## ニッテンについて

日本甜菜製糖株式会社は、1919年の創業以来、北海道の畑で採れたてん菜から、砂糖をはじめ様々な製品を製造・販売しているてん菜のプロフェッショナルです。国産糖のトップ企業であるだけでなく、食品、飼料、農業資材、不動産など幅広く事業を展開しています。創業の地である北海道の地域社会と密接に関わりながら、企業として多くの信頼を得てきました。

「畑から、食卓へ。てん菜から広がる可能性を見だし、人と環境にやさしいものづくりで、北海道、そして日本の未来に貢献します。」のパーパスを掲げ、100年以上国産糖の安定供給と北海道農業の発展に努めてきた経験を活かしながら、この先も多くの方に支持され続ける企業への成長を目指します。

ホームページ URL : <https://www.nitten.co.jp/>

<連絡先> 管理部管理課 広報担当 前田・高橋

電話:03-6414-5522

メール:soumutky@nitten.co.jp

# フォルムのこだわり

## 円形のモチーフ

現行のスズラン印の円形を継承。  
円形は継続性の象徴であり、  
進み続ける会社である印象を与える。

## 花卉の数

食品販売部の事業と方針を表現。  
砂糖・イースト・機能性食品の3本柱と、  
未知なる可能性に挑戦する意味を  
込めて、4つの花卉を咲かせている。  
また、知ってもらう・使ってもらう・  
喜んでもらう・ファンになってもらうの  
4つの事業方針も意味している。



## 躍動的なデザイン

花卉や葉の先端は上を向いており、  
上品ながらも勢いが感じられる。  
茎の太さの強弱により、立体感を演出。

## 存在感のあるアイコン

SNSのアイコンやファビコンのサイズでも  
デザインが損なわれない。  
シンプルなあしらいのロゴであるため、  
遠くからでも識別しやすい。

# Nitten

小さいサイズになると  
左は葉脈がチカチカして見える



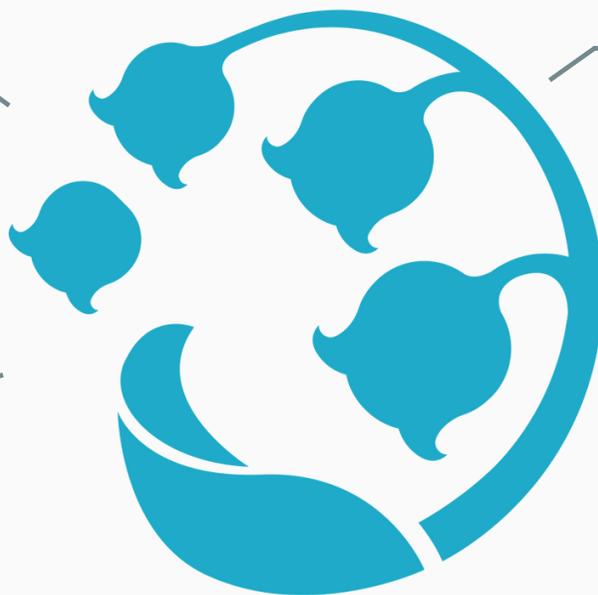
# カラーのこだわり

## スズランのイメージ

スズランは「清らか」「繊細」「純粹」のイメージを持つ花である。水色の持つ清らかさや繊細さ、純粹な印象はスズランに相応しい。

## 北海道への敬意

十勝晴れ・オホーツクブルーと称される青く澄んだ青空と、大雪山の清らかな雪解け水や清流をイメージ。北海道の自然をイメージしたカラー。



## 色彩心理学的側面

水色は空や海など自然を想起させる。鎮静効果のある寒色であることと相まって人を癒す効果がある。また誠実さ・信頼感を感じさせる色であるため、企業の印象向上につながる。水色は希望を感じる前向きさを与える色であり、変化の意味も持つ。

## 色覚多様性に配慮

色の識別が苦手な人の多くにとって青は目立つ色であり、水色は見え方がほぼ変わらない色である。※

※対象者の多数が1型・2型色覚に分類されることによる

# Nitten